

メカトロニクス技術高度化「研究助成」応募要領（2025 年度事業分）

公益財団法人 NSK メカトロニクス技術高度化財団

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-6-3(日精ビル)

PHONE:03(5496)5746 FAX:03(5496)5748

E-mail:nsk-fam@nsk.com

本財団は日本精工株式会社（NSK）とそのグループ会社の後援で運営されています。日本精工グループは、Motion & Control をモットーと定め、転がり軸受等の機械要素製品、ボールねじ等の精密機械製品および自動車用電動ブレーキ用等の機械システム製品など、メカトロニクス技術を支える機械製品の製造販売を行っています。

本財団の研究助成事業は、これらの機械製品の進化と深化に資するものだけでなく、質量ある対象を支え、駆動し、制御するというメカトロニクス技術（Motion & Control）の発展に貢献する、基礎的または応用的研究を対象とします。この点を理解のうえ研究の対象および応募要領に対応する研究テーマを設定し、申請していただければ幸いです。

1	研究の対象 (メカトロニクス 技術の発展に 関連すること)	①トライボロジー ② センサー ③アクチュエーター ④ 軸受、直線運動機構 ⑤ 運動及び動力伝達機構とその要素 ⑥ 機械の精密運動制御 ⑦工作機械及び加工 ⑧ ロボット機構と制御 ⑨メカトロニクス技術の半導体産業、医療機器産業、環境産業、 エネルギー産業、輸送機器産業などへの応用
2	応募者の 資 格	応募者は博士の学位を有し、かつ教授、准教授、講師、助教および日本学術振興会特別研究員ならびにこれらに準ずる者であって、次の所属機関において常勤する研究者とします（当財団から所属機関に確認することがあります）。 (1) 大学（附置研究所を含む） (2) 高等専門学校 (3) その他当財団が認めた研究機関 当財団の「研究助成」を受け、研究期間中の方は応募できません(<u>共同研究者としても応募できません</u>)。成果報告書提出後は応募申請が可能です。
3	助 成 金 額	1 件あたり 200 万円を限度とします。 ※間接経費に関する考え方は、必要に応じて当財団の考え方について文章を発行させていただきます。
4	研究期間	原則として 2028 年 2 月までの 2 年間に終了するものとします。

5	申請書等の提出方法と提出期限	B-3 ページから B-9 ページは「研究助成」申請書フォーマットです。 (1) 申請書 B-3 (捺印必要) のみを PDF 化して、E-Mail (nsk-fam@nsk.com) 送付してください。 (2) 申請書全ページ (捺印不要、<u>コピー&ペースト可能</u>) と研究論文を一続きのファイル (容量により分割も可) として PDF 化して E-Mail (nsk-fam@nsk.com) 送付、または <u>ファイル転送 (可能な限り Google Drive)</u> でアップロード送付をお願いします。 (3) 研究論文は最近 5 ヶ年間で学会誌等に発表された研究論文のうち主要なもの 5 編程度の論文を PDF 化したものとします。 2025 年 11 月 21 日 (金) E-Mail またはファイル転送 (<u>可能な限り Google Drive</u> アップロード) にて必着
6	審査の観点	研究の目的、有用性、新規性、独創性および期待される成果の観点から審査いたします。
7	選考	(1) 当財団で審査・選考し、2026 年 1 月末日までに採否を申請者に通知します。 (2) 2025 年度事業分の「研究助成」の採択数は 15 件前後を予定しています。
8	研究助成金の贈呈	(1) 採択された申請に対する助成金は所属機関への寄附金として取り扱います。 (2) 助成金交付証の贈呈式は 2026 年 3 月を予定しています。 (3) 助成金使途を大幅に変更する場合には事前に当財団の承認を得てください。
9	報告	(1) 研究開始 1 年後に HP の中間報告書 (B-10) を提出して下さい。 研究が 1 年以内に終了する場合には中間報告書は不要です。 (2) 提出された計画の研究の終了 (原則として 2028 年 2 月末日まで) 後 2 ヶ月以内に HP の成果報告書 (B-11 以降) を提出して下さい。 (3) 研究実施の中間においてもその経過の報告をお願いすることもあります。
10	申請書の作成あたっての注意事項	(1) 科学研究費補助金申請に使用する研究者番号を御記入願います。 (2) 論文博士の場合は学歴、博士の欄の「修了」を「取得」に変更し、大学名と取得年を記入して下さい。 (3) ホームページを開設されている申請者・助成対象者はホームページ URL 欄にご記入願います。 (4) 助成申請内容や助成研究成果の知的財産に関しては、応募者にて十分な配慮をお願いいたします。本財団は研究題名を除き申請書の内容は外部には一切公開いたしません。研究題名は助成採択時に公表することがあります。知的財産権等の問題がある場合、必要に応じ、申請用の研究題名の他に、公表用の研究題名なり、一切公表不可の旨なりを研究題名欄に付記して下さい。 (5) 「研究の対象の分類」欄には、応募要領の (B-1 頁) 1 研究の対象にある①から⑨の項目に最も合致するもの<u>一つだけ選択</u>し記入して下さい。 (6) 申請書の各項目の文章はフォント明朝 10.5pt を用い、簡潔明瞭な図表も含め、各ページの枠内に記述してください。
11	その他	この助成金を受けた研究を論文等で発表する際には、当財団の助成金の交付を受けたことを明示して下さい。

年 月 日

メカトロニクス技術高度化「研究助成」申請書（2025 年度事業分）

下記の通り「研究助成」を申請します。

申請者・助成対象者	ふりがな		印	研究者番号			
	氏 名			年 月 日生	役職		
	所属機関・部局等						
	専攻・学科等						
	同上所在地	〒			電話番号		
					携帯番号		
	学歴(職歴)	本科	高等専門学校	年卒業			
		専攻科	高等専門学校	年修了			
		学部	大学	年卒業			
		修士	大学大学院	年修了			
博士		大学大学院	年修了				
(職歴)							
現在の専門分野					学位		
E-mail				ホームページURL			
共同研究者	ふりがな		印	研究者番号			
	氏 名			役職			
	所属機関・部局等						
	専攻・学科等						
	現在の専門分野					学位	
研 究 題 名							
研究の対象の分類（B-1 頁の 1. 研究の対象（①～⑨）から一つを選択し（ ）に番号を記入（ ）							
1. 研究の概要（2. 3. 4. の内容を簡潔にまとめ、フォント明朝 10.5pt で記入してください）							

2. 研究の背景・位置付けおよび国内外の関連研究の状況（フォント明朝 10.5pt）
（特定の分野で用いられる用語については、簡単な説明をお願いします）

3. 研究の目的、有用性、新規性、独創性および期待される成果（フォント明朝 10.5pt）

4. 研究の具体的な実施計画（フォント明朝 10.5pt）

例えば何を、いつ、どこまで明かにするかなど箇条書きで、分かり易く記入して下さい。

5. 外部からの助成状況 本申請との関連の有無を問わず、過去4年間に受けた全ての外部資金について、研究題名と助成機関、代表・分担の別、期間、助成金額を記入して下さい。(フォント明朝 10.5pt)

6. 助成金の使用計画

単位：千円

(助成金額の限度は 2,000 千円以下です)

研究費全体予定額(a) _____ 千円 助成希望金額(b) _____ 千円

費 目	内 容	研究費の使用計画	左記のうち助成 を希望する金額
備品費			
消耗品費			
旅費			
その他			
合 計		(a)	(b)

実質的な研究費への使用を希望。

旅費、論文掲載料、等の合計は申請総額の半分程度までとします。

7. 助成対象者が最近 5 ヶ年間で学会誌等に発表された研究論文、または研究著書のうち主要なもの 5 編程度までの題名、著者・共著者全員の氏名、年次、誌名を記入して下さい。なお、<u>それらの論文を本申請書と一続きの書類として PDF 化して E-Mail (nsk-fam@nsk.com) 送付 (分割送付可) またはファイル転送 (Google Drive 等) でアップロードして送付ください。</u> (著書は表紙および目次の PDF を送付願います) A) 題 名、B) 著者・共著者名、C) 年 次、D) 誌 名	
①	
②	
③	
④	
⑤	

本申請の課題に係らず、申請者の特許出願・取得状況を記入して下さい。

--

本件の「研究助成」の応募において最初に情報源として知った番号をひとつだけ記入下さい。

① 学内・所内案内、② 当財団 HP、③ 知人紹介、④ インターネット ⑤ 募集ポスター、⑥ 日本精工からの働きかけ、⑦ 他助成財団 HP、 ⑧ その他	
---	--